

大崎市下水道事業への
ウォーターPPP 導入に向けた
マーケットサウンディング

アンケート調査結果
(抜粋版)

令和8年3月

大崎市 上下水道部 下水道施設課

本調査結果は、民間事業者が特定されるおそれのある設問及び自由記述欄の回答を除いた抜粋版として作成しています。

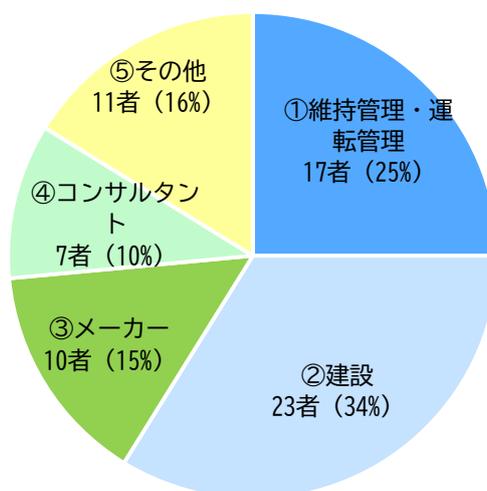
1 回答者情報

1.1 業務分野

問1-1 貴社の業務分野を選択してください。 ※複数回答可

<input type="checkbox"/>	1 維持管理・運転管理	<input type="checkbox"/>	4 コンサルタント
<input type="checkbox"/>	2 建設	<input type="checkbox"/>	5 その他
<input type="checkbox"/>	3 メーカー		

業者数=56者/総回答数=68件

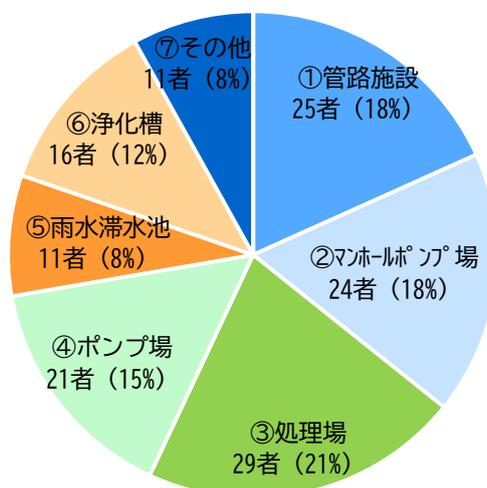


1.2 施設

問1-2 貴社の業務で対象としている施設を選択してください。 ※複数回答可

<input type="checkbox"/>	1 管路施設	<input type="checkbox"/>	5 雨水滞水池
<input type="checkbox"/>	2 マンホールポンプ場	<input type="checkbox"/>	6 浄化槽
<input type="checkbox"/>	3 処理場	<input type="checkbox"/>	7 その他
<input type="checkbox"/>	4 ポンプ場		

業者数=56者/総回答数=137件



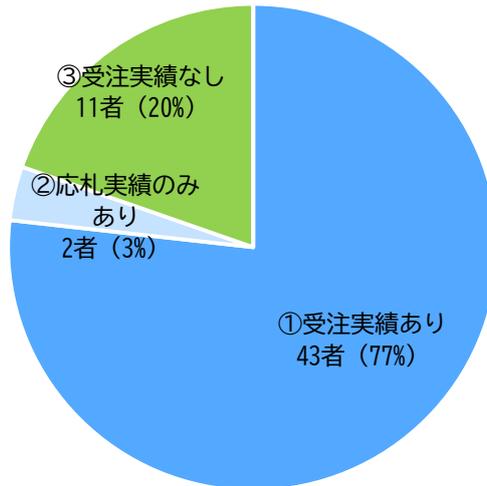
2 受注実績

2.1 本市下水道事業

問2-1 本市下水道事業における参入実績の有無についてご回答ください。現在実施中の業務も含まれます。

- | | |
|---|----------|
| 1 | 受注実績あり |
| 2 | 応札実績のみあり |
| 3 | 受注実績なし |

業者数=56者/総回答数=56件

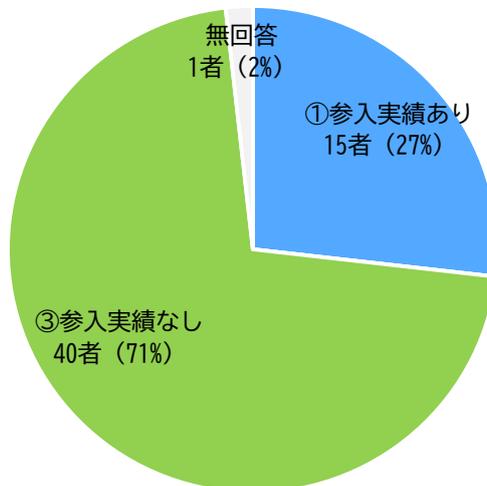


2.2 官民連携事業

問2-2 下水道の官民連携事業への参入実績の有無についてご回答ください。現在実施中の業務も含まれます。(本市に限らず、有無についてご回答ください。)

- | | |
|---|----------|
| 1 | 参入実績あり |
| 2 | 応札実績のみあり |
| 3 | 参入実績なし |

業者数=56者/総回答数=56件



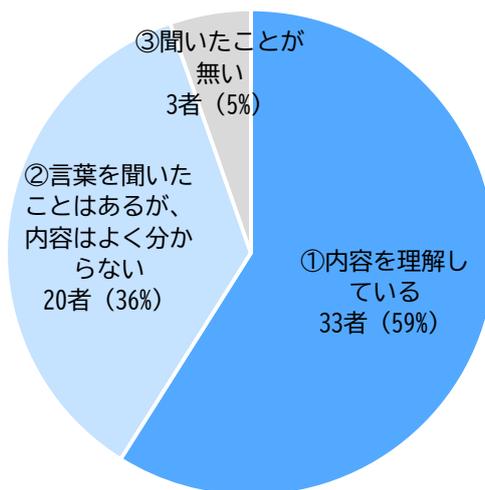
3 官民連携事業に関する理解度及び関心度

3.1 官民連携事業の理解度

問3-1 官民連携事業について、どの程度理解されているかご回答ください。

<input type="checkbox"/>	1 内容を理解している
<input type="checkbox"/>	2 言葉を聞いたことはあるが、内容はよく分からない
<input type="checkbox"/>	3 聞いたことが無い

業者数=56者/総回答数=56件

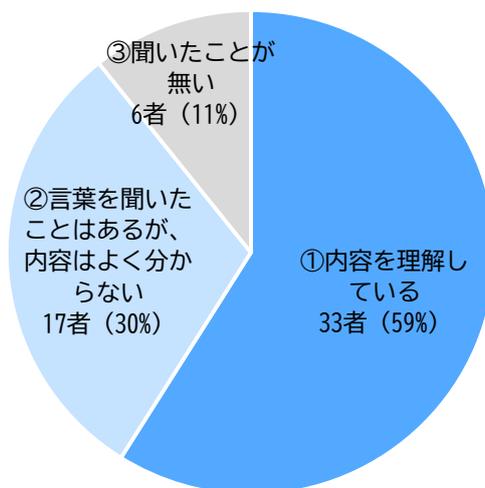


3.2 ウォーターPPPの理解度

問3-2 ウォーターPPPについて、どの程度理解されているかご回答ください。

<input type="checkbox"/>	1 内容を理解している
<input type="checkbox"/>	2 言葉を聞いたことはあるが、内容はよく分からない ⇒問3-4は回答不要です。
<input type="checkbox"/>	3 聞いたことがない ⇒問3-4は回答不要です。

業者数=56者/総回答数=56件

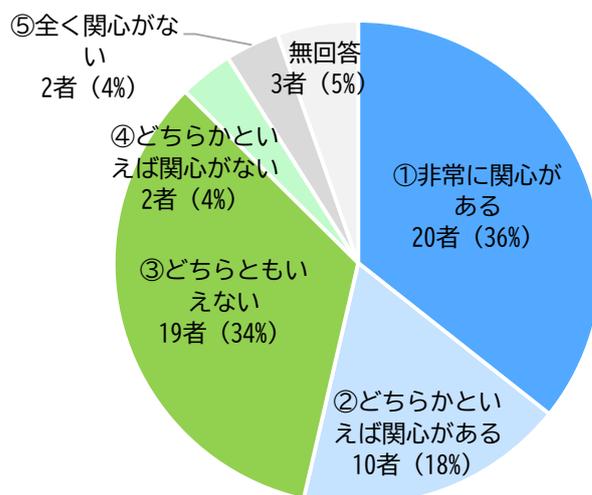


3.3 関心度

問3-3 本市が導入を検討しているウォーターPPP（以下、本事業という）について、どの程度関心を持たれているかご回答ください。

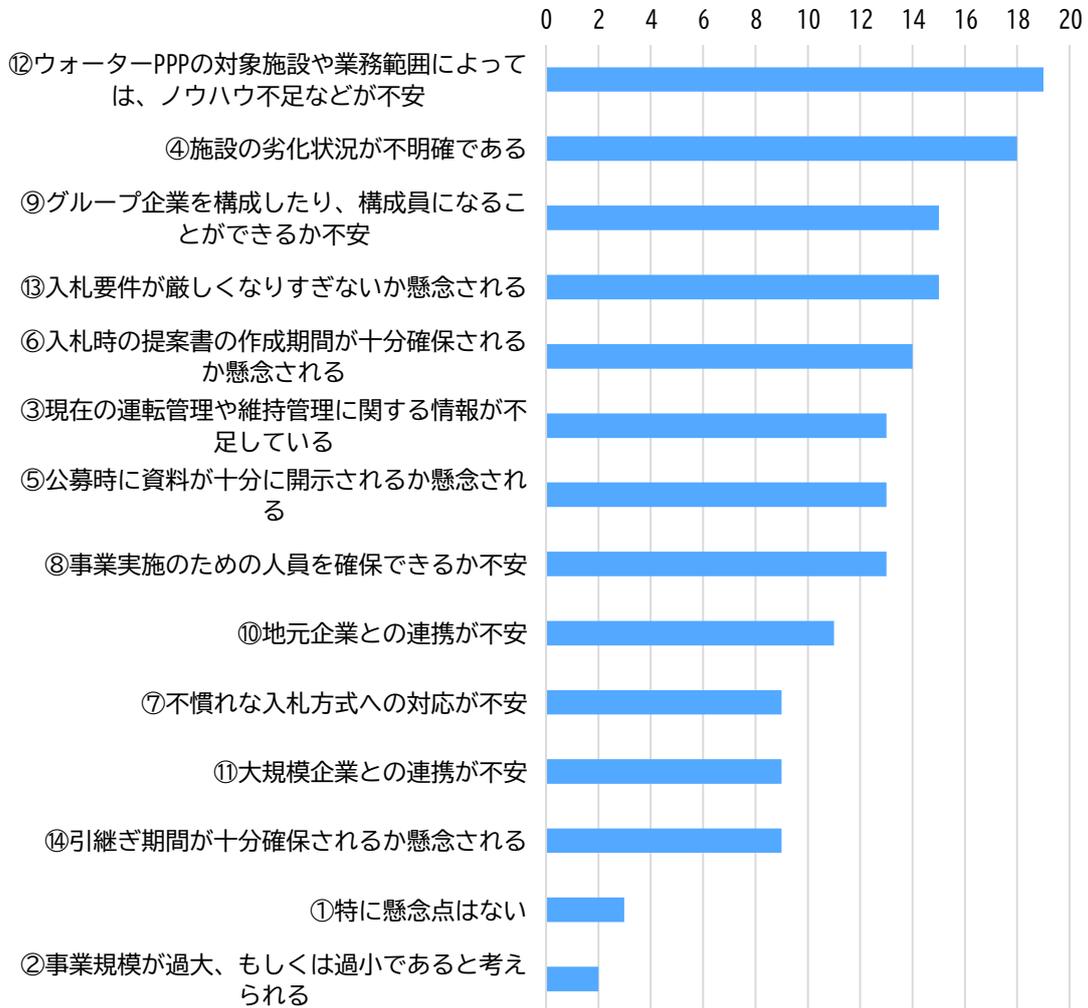
<input type="checkbox"/>	1 非常に関心がある	<input type="checkbox"/>	4 どちらかといえば関心がない
<input type="checkbox"/>	2 どちらかといえば関心がある	<input type="checkbox"/>	5 全く関心がない
<input type="checkbox"/>	3 どちらともいえない		

業者数=56者/総回答数=56件



3.4 ウォーターPPPの懸念点

問3-4 問3-2で1.内容を理解していると回答された方は、貴社が本市のウォーターPPPに参入される際の懸念点についてご回答ください。 ※複数回答可



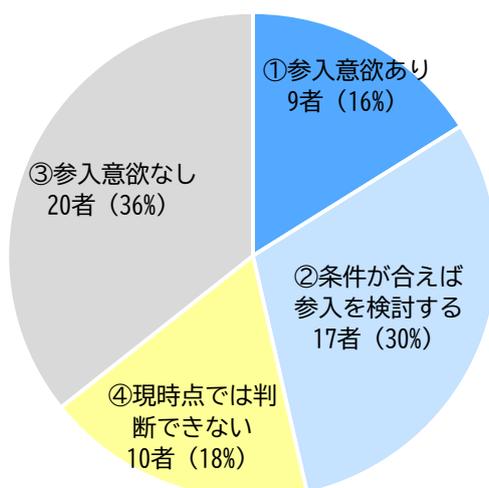
4 参入意欲

4.1 参入意欲

問4-1 本事業への参入意欲についてご回答ください。

- | |
|--|
| 1 参入意欲あり |
| 2 条件が合えば参入を検討する |
| 3 参入意欲なし ⇒本アンケートはここで終了となります。ご協力ありがとうございました |
| 4 現時点では判断できない |

業者数=56者/総回答数=56件

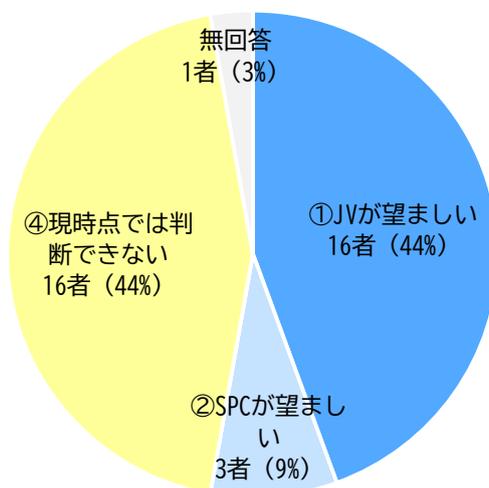


4.2 企業形態

問4-2 本事業の事業体に参加することを想定した際に、貴社が望ましいと考えるものをご回答ください。

- | |
|--------------------|
| 1 JV（共同企業体）が望ましい |
| 2 SPC（特別目的会社）が望ましい |
| 3 単独が望ましい |
| 4 現時点では判断できない |

業者数=36者/総回答数=36件

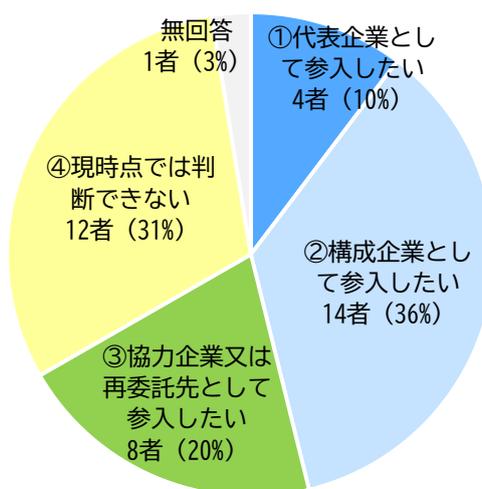


4.3 参入体制

問4-3 コンソーシアム（JVやSPC等の共同企業体）の組成が必要となった場合、貴社の体制についてご回答ください。

	1 代表企業として参入したい
	2 構成企業として参入したい
	3 協力企業又は再委託先として参入したい
	4 現時点では判断できない

業者数=36者/総回答数=39件



4.4 資格保有者

問4-4 本事業に参入可能な貴社の資格保有者をご回答ください。 ※複数回答可



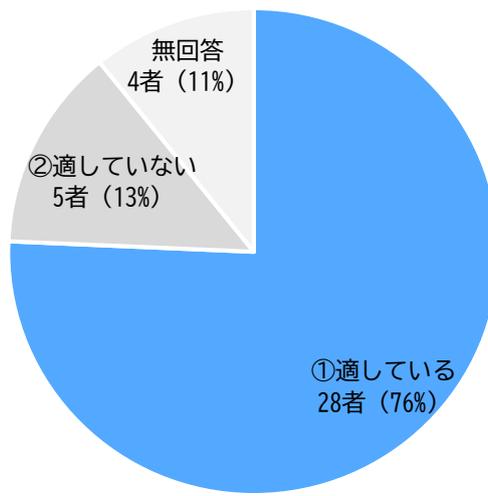
5 事業スキーム（市案）

5.1 業務範囲

問5-1 本市は、ウォーターPPPのうち、管理・更新一体マネジメント方式（更新支援型）の導入を想定しています。本手法に対する貴社のご意見をお聞かせください。
※適していないとご回答された場合は、理由もご記入願います。
※レベル3.5の4要件を理由とされる場合、次項「6. レベル3.5の4要件について」で対応の可否をお聞きしておりますので、具体的な内容は次項で回答いただいで問題ありません

- 1 適している
- 2 適していない（以下に理由を記入してください。）

業者数=36者/総回答数=37件

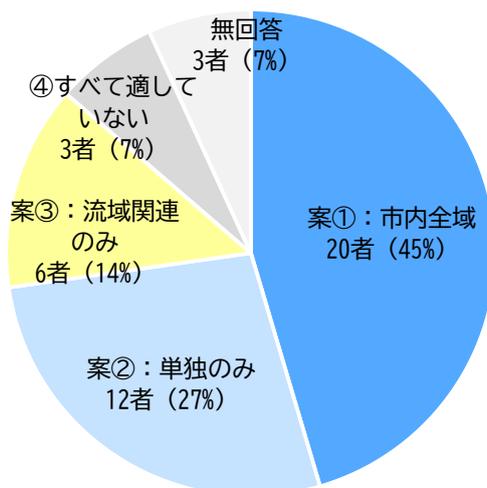


5.2 対象処理区

問5-2 本市が想定している本事業の対象処理区案のうち、貴社が適していると思われる案をご回答ください。
※すべて適していないとご回答された場合は、理由もご記入願います。

- | | |
|--------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 案①：市内全域の公共下水道処理区（古川、岩出山、鳴子、志田処理区） |
| <input type="checkbox"/> | 2 案②：流域関連を除く公共下水道処理区（古川、岩出山、鳴子処理区） |
| <input type="checkbox"/> | 3 案③：流域関連のみの公共下水道処理区（志田処理区） |
| <input type="checkbox"/> | 4 すべて適していない（以下に理由を記入してください。） |

業者数=36者/総回答数=44件

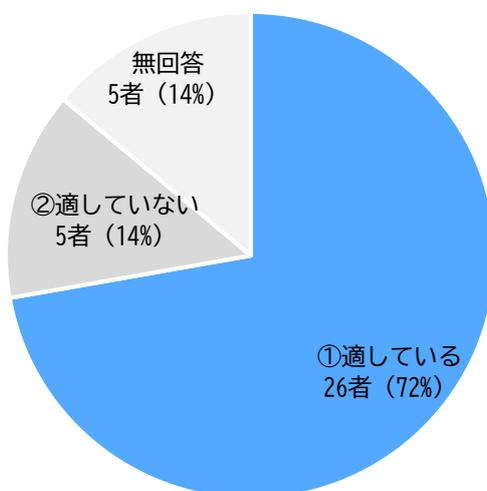


5.3 対象業務

問5-3 本市が想定している本事業の業務範囲案について、貴社のご意見をお聞かせください。
※適していないとご回答された場合は、理由もご記入願います。

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 適している |
| <input type="checkbox"/> | 2 適していない（以下に理由を記入してください。） |

業者数=36者/総回答数=36件



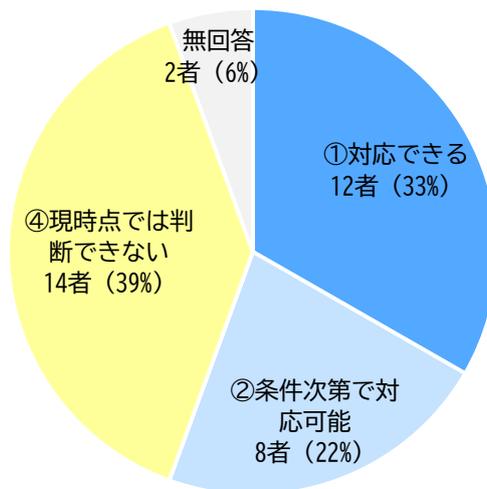
6 レベル 3.5 の 4 要件

6.1 要件①長期契約（原則 10 年）／対応可否

問6-1 要件①長期契約（原則10年）
契約期間10年への対応可否についてご回答ください。

1	対応できる
2	条件次第で対応可能
3	対応できない
4	現時点では判断できない

業者数=36者/総回答数=36件

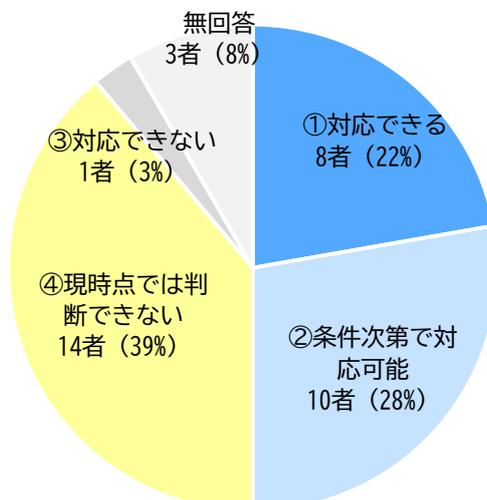


6.2 要件②性能発注／対応可否

問6-2 要件②性能発注
性能発注への対応可否についてご回答ください。

1	対応できる
2	条件次第で対応可能
3	対応できない
4	現時点では判断できない

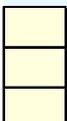
業者数=36者/総回答数=36件



6.3 要件②性能発注／管路の性能発注

問6-3 要件②性能発注

性能発注が前提となりますが、管路施設については、仕様発注から開始し段階的に性能発注へ移行しても良いとされています。管路施設の性能発注について、貴社のお考えをご回答ください。

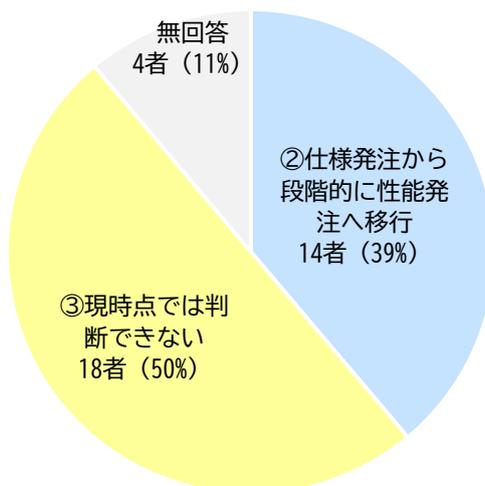


1 性能発注から開始する

2 仕様発注から開始し、段階的に性能発注へ移行する

3 現時点では判断できない

業者数=36者/総回答数=36件



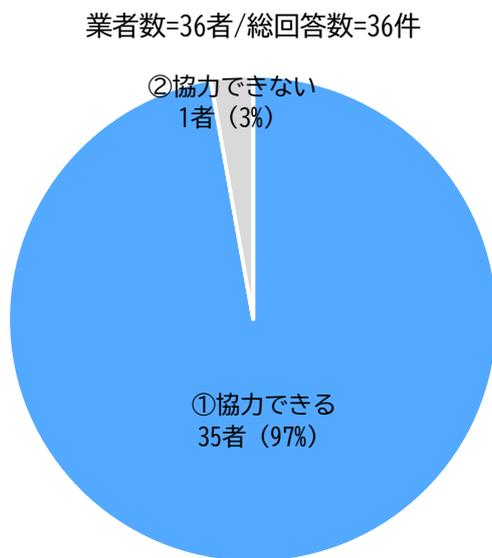
7 今後

7.1 協力可否

問7-1 今後もアンケート調査や個別のヒアリング調査（対話）を実施する可能性があります。その際、再度ご協力いただけるかご回答ください。

1 協力できる

2 協力できない

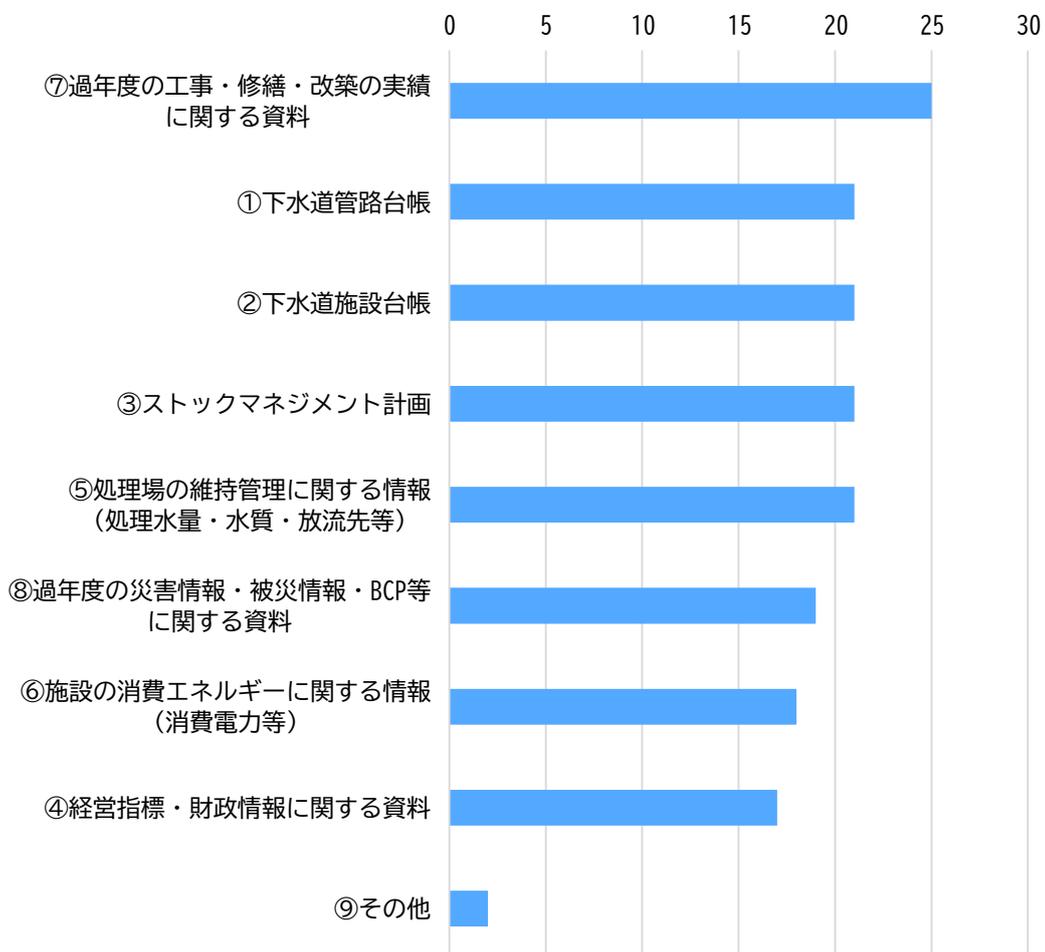


7.2 開示資料等

問7-2 今後、公募へ参加するにあたり、発注者から事前に開示される資料や情報のうち、重視するものをご回答ください。

※選択された資料や情報が必ず公開されるものとは限りません。

※複数回答可



8 アンケート結果の考察

- アンケート回答者の業務分野は維持管理会社、建設会社、メーカー・コンサルタント会社などバランス良く回答いただいた。また、市内・市外業者の回答比率は半々程度であった。
- ウォーターPPPへの参入意欲について、条件が合えば参入を検討するを含めると、約5割の業者が参入意欲を持っている。また、理解度について、全体では約6割が内容を理解していると回答しているが、市内業者で見ると、約2割に留まっている。
- 事業スキームについて、管理・更新一体マネジメント方式（更新支援型）の導入に対しては、7割超が適していると回答している。
- 対象処理区については、案1の市内全域が最も回答が多く、続いて案2の単独のみの公共下水道処理区となった。なお、参入意欲ありと回答した業者の内訳を見てみると案1・案2は同数回答であった。
- 全体を通して現時点で判断できないとの意見が一定程度見られたことから、今後も地元企業に対する勉強会等の開催を検討していく。